



湯原小だより

NO.7

令和8年9月14日発行
真庭市立湯原小学校

- 【学校教育目標】 「自分をみがき未来をひらく湯原っ子の育成」
- 【めざす学校像】 「笑顔あふれる学校」
- 【めざす子ども像】 「チャレンジする子」「ともに伸びる子」
- 【めざす教職員像】 「学び続ける教職員」「対話でつながる教職員」



令和8年度全国・県学力・学習状況調査結果から

4月23日に全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。この調査は、児童の学力や学習状況を全国・全県に照らして把握・分析し、指導の充実、学習状況の改善に役立てるために行われています。



国語も算数もまだまだ伸びる！

学力調査の平均正答率について、湯原小学校6年生は、国語・算数とも平均正答率が全国平均よりも低い結果でした。国語と算数では、算数の方が低く、定着に課題が見られました。

国語では、資料を引用して書く、自分の考えを書くなど、「書くこと」への課題が見られ、無回答（何も書いていない）の児童もいました。また、言語・読解の基礎的な力にも課題があることもわかりました。

算数では、図形の問題は比較的よくできていたものの、それ以外の領域の問題の正答率が低く、低学年からの積み上げの課題が浮き彫りとなりました。

ただ、昨年度から取り組んでいる非認知能力育成の成果として、「教科の学習に向かう姿勢・意識」は全国や県と比較しても高いことがわかりました。同様に、学びの自己調整や主体的・対話的で深い学びの実現、ICT を活用した学習の取組も進んでいることが明らかになりました。これらの力が教科の学力に現れるよう、取組を継続しながら授業改善に努めていきます。

【授業に関わる課題】（児童質問紙より）

国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていた。	60%
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていた。	53.3%

【学校の強み】（児童質問紙より）

先生は、あなたのよいところを認めてくれている。	100%
友だち関係に満足している。	100%
分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、くふうすることができている。	93.3%
PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校の活動でプレゼンテーションを作成することができる。	93.3%
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	93.3%
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。	100%
授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。	100%

家庭での過ごし方を見直そう！

【習慣形成の課題】（児童質問紙より）

以下の表のとおり生活習慣・学習習慣の形成について、大きな課題が明らかになりました。

〔質問項目〕	本校
平日の勉強時間が1時間以上	26.7%
平日のスマホ等（PC、ゲーム、タブレット、TV）視聴時間2時間以上	86.6%
「学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。」の問いて、週に1～2回以上の回答	26.7%

この結果から、家庭での時間の使い方を大きく見直す必要性を感じます。学校では、毎日の健康観察や学活の時間などに、メディアや睡眠について、子どもたち自身が「よりよい過ごし方」について考える働きかけを行っています。しかし何よりも肝心なのは、ご家庭での話し合いです。お子さんの「なりたい自分」へのエールとして、家庭学習の習慣化・メディア使用のルールについて、お子さんと繰り返し話し合い、よりよい過ごし方ができるようにしていきましょう。目指す姿は、

○家で学習に向かう習慣がつく。

○時間を見てメディア使用を自分でやめる。

です。小学生の間に身につけることが、今後の学力、将来の夢につながっていきます。「今」を逃さずあきらめず、取り組んでいきましょう。

